

登録コード	FS201500	開講年度	2026			
授業題目	繊維技術士特論				担当教員	村上 泰 他
英文授業名	Topics in Textile Consultants				副担当	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	講義	備考	修士課程1、2年生
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				⇔	【授業の達成目標】
	23FS初					
	【研究科共通】環境調和社会，知識基盤社会を多様に支える高度な専門知識と実践的技術力				⇔	繊維製品の開発・評価・製造プロセスに関する高度な専門知識を獲得し、環境調和型社会の構築に寄与できる技術者としての資質を涵養する。
(2)授業の概要	日本繊維技術士センターから派遣された講師5名により執り行われる授業で、繊維技術士取得のための繊維に関する様々な技術内容が含まれている。					
(3)授業計画	授業は集中講義により行われる。2025年11月10日（月）～11月14日（金） 講義内容： 第1回 ・繊維の歴史、繊維の科学と天然繊維 第2回 ・化学繊維・合成繊維と衣料用繊維 第3回 ・繊維の用途と繊維複合材、機能繊維 第4回 ・糸の構造・種類と紡績糸の構造・性能・製法 第5回 ・加工糸の構造・性能・製造と新規技術 第6回 ・繊維の染色原理と染料 第7回 ・高機能加工と新規技術 第8回 ・高機能製品の企画・開発・設計 第9回 ・アパレル産業のSDGsとその対策 第10回 ・不織布の製造 第11回 ・不織布の性能と新規用途 第12回 ・産業資材用繊維 第13回 ・高性能・高機能繊維 第14回 ・繊維編物の構造・性能 第15回 ・繊維編物の製造と新規用途 講義終了時に、繊維技術士関連の試験を配付し、自宅で解答後、提出してもらう。					
(4)成績評価の方法	毎回授業される項目に対する理解度（授業中における担当教員との質疑応答等）（約40％）及び繊維技術士に関する模擬試験（約60％）により成績を評価する。					
(5)成績評価の基準	得点率による評価基準は次の通りとする。 秀： 授業の達成目標の水準から見て卓越している 優： 授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良： 授業の達成目標の水準よりやや上にある 可： 授業の達成目標の水準にある 不可： 授業の達成目標の水準にない					
(6)事前事後学習の内容						
(7)履修上の注意	技術士とは何かを前もって調べてから受講することが望ましい。特に、繊維技術士がどのような活動を行っているかWebページで知識を得た上で受講いただくと授業に対して理解が深まると思われる。 人数制限があるため、抽選となることがあります。 【新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開講の有無を含めて変更になることがあります。】 開講が確定した段階で、希望調査をします。別途掲示等で周知しますので、ご注意ください。					
(8)質問,相談への対応	講義開始前は、世話役の村上教授に連絡or学務グループに相談すること。各担当講師に直接メールにより質問するか、各担当客員教授のメールアドレスは、授業時に聞いて欲しい。					
(9)授業の形式	繊維技術士に関する授業は、ここでしか行われていない授業である。繊維技術士になるためには高度で幅広い知識が必要であるが、この授業では、専門科目の繊維関連に集中した講義を行う。将来、国家資格である技術士を目指す学生はもとより、繊維技術に関して幅広く学習したい学生にはうってつけの授業である。					
(10)学生へのメッセージ						
【教科書】	各講師がプリントを配布する。					
【参考書】	使用しない。					